opusdei.org

## 黙想の祈り:待降節 第2木曜日

黙想のテーマ:「内的清めの 必要性」「心の清さ」「祈り において愛は燃え上がる」

内的清めの必要性

心の清さ

祈りにおいて愛は燃え上がる

「はっきり言っておく。およそ女から生まれた者のうち、洗礼者ヨハネより偉大な者は現れなかった」 (マ

タイ11・11)。今日のミサの福音書におけるイエスの言葉は、初期の頃から先駆者を特別に崇敬してきた教会によって、忠実に保たれてきました。それはたとえば、イエスの降誕の神秘と密接に関連している洗礼者の誕生を祭日として祝う典礼において見られます。

また、四つの福音書も洗礼者聖ヨハ ネの姿に焦点を当てています。彼は 旧約を締めくくる最後の預言者であ り、新約を指し示し、メシアであり 神の子羊であるイエスを知らせま す。彼の父ザカリアは、信仰の不足 によって失った声を取り戻したと き、Benedictus (ザカリアの預言) によって神を賛美しました。この祈 りは待降節において、特別な意味を 持ちます。「幼子よ、お前はいと高 き方の預言者と呼ばれる。主に先 立って行き、その道を整え、主の民 に罪の赦しによる救いを知らせるか らである| (ルカ1・76-77)。この 預言はヨハネが担う使命を現しています。それは差し迫るイエスの到来をより実りあるものとするため、 人々に痛悔と回心を呼びかけることでした。

キリストを発見するためには、ある 種の清めが必要です。「あなたが自 分自身を知ることができ、また悲し いことにたくさんの汚れ物があなた を通っただけでなく、後に多くの沈 殿物を残したことを思って泣くこと ができるよう、御父と御子と聖霊、 そして御母に、助けをお願いしなさ い。と同時に、このような考えを止 めようと望むことなく、主に申し上 げなさい。『イエスよ、清めの火の ごとき愛をください。私の肉、哀れ な心、哀れな霊魂、哀れな体を焼き 尽くし、現世的なすべての惨めさか ら清めてくれる愛を。そしてひとた び自らを空にした後は、あなたに満 たされ、この地上の何ものにも執着 せず、常にあなたの愛に支えられま すように』 | m。

「わたしは主、あなたの神。あなた の右の手を固く取って言う。恐れる な、わたしはあなたを助ける」(イ ザヤ41・13)。今日のミサの第一朗 読におけるイザヤの言葉は、イエス を迎え入れる準備をするにあたり、 神の助けを信頼することが最も重要 であることを思い出させます。私た ちが神の呼びかけに従順であれば、 神自身が私たちを変えてくれます。 その結果、新しい生命が私たちの心 に芽生え、これまで不毛だったもの が命を取り返します。主の甘美なる 約束が私たちの霊魂において現実に なります。「わたしは不毛の高原に 大河を開き、谷あいの野に泉を湧き 出させる。荒れ野を湖とし、乾いた

地を水の源とする」(イザヤ41· 18)。

土地を生き生きとさせる大河のよう に、神は私たちに恵みを授けてくれ ます。私たちは、実を結ぶための障 害を取り除きながら、神の御旨を望 みそれを受け入れるよう招かれてい ます。「心の守り。あの司祭は次の ように祈った。『イエスよ、私の哀 れな心が閉じられた庭園であります ように。私の哀れな心があなたのお 住みになる天国となりますように。 守護の天使が私の心を守り、すべて の愛情が心の中に入る前に火の剣で 清めてくれますように。イエスよ、 あなたの十字架の神的な封印で私の 哀れな心を封印してください』|

私たちは心の底から主を愛することを望みます。ですから、そのために、他人に対する愛といつくしみの心の不足、自己中心性、無関心な

[2]0

ど、私たちの心を主の心から遠ざけ ることを取り除く恵みを主に求めま す。私たちの心を清める恵みを求め ましょう。聖ヒエロニムスによれ ば、この賜物は、それを求める者、 それを望む者、それを受けるための 努力をした者に与えられます。教 会が待降節において、私たちに向け る心の清めへの呼びかけは、単なる 「汚れのない状態」への呼びかけで はありません。心の清めとは、それ とは根本的に異なり、はるかに魅力 的で、誰の手にも届くものです。私 たちは、自分の心をキリストの心に より一致させるために、謙遜に主に 助けを求めながら、心を清めたいと 望んでいるのです。

「キリスト者は神の愛に酔っている 人々のことです。私たちが生気のな い物質のように、潤いなく堅苦しい

生き方をすることなど、主のお望み ではありません。神はご自分の愛で 私たちを包みたいと思っておられる のです | 団。 聖なる愛で私たちの心 を満たすためには、持続的な祈りが 必要です。今日のミサの集会祈願は 次のように祈ります「恵み豊かな神 よ、御ひとり子の道を備えることが できるよう、わたしたちを力づけて ください。清い心で御子の降誕を迎 えることができますように | 。私た ちは「愛することを知っている人ら しく働き、生き、死し気ぬよう心が けます。聖ホセマリアと共に祈りま しょう:「主よ、たとえ真に聖なり と言える愛情であっても、あなたの 傷ついた聖心を诵ることなく私の心 に入り込むことのないほどに、私を あなたのものとしてください | [6]。

待降節の典礼は緊迫感をもって私たちに主の到来を告げ、私たちが主のために日毎により広い道、より清潔な住まい、より用意のできた心を準

備するよう呼びかけます。しかし愛する人は、待つことだけでは満足をません。愛する人は、愛の対象を探しに出かけます。それゆえ、私たちは祈りにおいてイエスを探しに散りばあられている信心においてイエスを愛したいと望みます。

神は私たちの努力に報いてくれま す。今日の詩編で歌うように「主は 恵みに富み、憐れみ深く、忍耐強 く、慈しみに満ちておられ」(詩編 145・8) るからです。主は私たち に、より自由で、愛にあふれ、平和 と喜びに満ちた心を授けてくれま す。美しい愛の母であるマリアのも とに馳せ寄りましょう。聖ホセマリ アは私たちに助言します:「聖母と ふたりだけの孤独の中にいる今、心 の中ですぐに申し上げなさい。わが 母よ、私の哀れな心は時々反抗しま すが、もし助けてくだされば…。こ

うお願いすれば、心を清く保ち、神のお呼びになった道を歩み続けられるよう、聖母が助けてくださるだろう」[7]。

- [1] 聖ホセマリア『鍛』41番。
- [2] ホセマリア『鍛』412番。
- [3] 聖ヒエロニムス『マタイによる 福音書注解』3:19, 11.
- [4] 聖ホセマリア『神の朋友』183 番。
- [5] 聖ホセマリア『鍛』988番。
- [6] 同書、98番。
- [7] 同書、315番。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/meditation/mokusou-taikousetsu2-mokuyou/(2025/12/16)